



2016

April

1

本校の卒業生より近況報告をいただきました。

2016年4月1日(金)。東京国際フォーラムにて挙行された上智大学学部入学式にて、文理科卒業生の和田大空さん(平成27年度卒・宮崎第一中学校出身)が新入生代表挨拶を行い、これまでの感謝の言葉とこれからの大学生活への期待と決意を語ったそうです。(新入生代表挨拶の全文を右に掲載しています)

卒業生の近況報告を聞けることは、教職員にとって本当に嬉しい出来事です。卒業生の皆様からの近況報告をお待ちしております。



総合グローバル学部総合グローバル学科
和田 大空さん

今日この良き日に高い志を共にする仲間たちと上智大学の門戸をくぐれる事をとても嬉しく、誇りに思います。私達新入生はこれまでの三年間それぞれ、様々な困難や葛藤を乗り越えてきました。その過程を思いやると、様々な人たちの顔が浮かんでくるのではないのでしょうか。故郷と同じで支えてくれて来た人々の存在も距離をおいてはじめて実感するものです。この門出の日に改めてそのような人々への感謝の念を再確認し、明日からの学校生活への原動力としましょう。

これから私達は専門性を高める、という学びの段階へ向けて進んでいきます。専門性とはすなわち人類の抱える問題を解決するためのアプローチの一つだと考えています。科学、語学、神学、地域研究、経済学などそれぞれの学部のもつ知識と経験をしっかりと体得し実際に問題を解決するチャンスが私達にはあります。

現在の世界にとって共存はとても重要な課題となっています。人と環境、バーチャルとリアル、宗教と科学、もちろん文化、宗教における人と人の共存も危急の課題です。このような時代だからこそ上智の精神である「他者のために、他者と共に」がいまこころののだと思います。

時代のニーズにあった学風のもとで経験豊富な指導者の下で多様な背景をもつ学友たちと学べることを可能にして下さったすべての人々、物事。そしてこのような盛大な入学式を催して下さった学長様以下、関係者各位と御来賓の皆様へ感謝申し上げます。新入生代表挨拶とさせていただきます。